

酒類飲料業界の専門紙

酒類飲料日報

THE DAILY WINES & SPIRITS

●発行所 株式会社 **食品産業新聞社**

本社 〒110-0015 東京都台東区東上野2-1-11 サンフィールドビル TEL03(6231)6091 FAX03(5830)1570
大阪支局 〒530-0044 大阪市北区東天満1-11-15 若杉グランドビル別館 TEL06(6881)6851 FAX06(6881)6859
ホームページ <http://www.ssnpc.jp>

●購読料(前納) 6カ月本体 41,000 円+税 / 1年本体 79,300 円+税



ストップ!20歳未満飲酒。

2020年(令和2年) 3月6日 金曜日 第13927号

CONTENTS

禁無断転載

[清 酒]	○1月の清酒課税移出数量は7.0%減の2万4,910klに—酒造中央会…………… 2
	○ゼロの市場に日本の酒を、現地の文脈で浸透図る—小林順蔵商店…………… 6
[焼 酎]	○1月の本格焼酎課税移出数量は7.4%減の2万3,611klに—酒造中央会…………… 2
[国税庁]	○国税庁がHACCP制度化について、小規模事業者の対応内容を公表…………… 2
[ビール]	○1月の新ジャンル輸入、前年比8.3%増の53万c/s—貿易統計…………… 3
	◇キリンビール4月1日付人事異動…………… 8
[RTD]	○2月のRTD総市場は「檸檬堂」除いて前年比10%増—本紙推定…………… 3
	○「樽ハイ倶楽部」缶入りRTD発売「もっと家飲みを楽しむニーズ」応える…………… 4
[企 業]	◇アサヒGHD小路明善社長らが聖火リレー…………… 3
[卸]	○ワイン&リカー試飲展示会、「カバラン」日本未発売商品も—伊藤忠食品…………… 5
[洋 酒]	◇ペルノ・リカールが京都蒸留所と資本提携…………… 6
	○19年のスコッチウイスキー輸出は4.4%増、日本向け数量19.7%増で4位…………… 7
[関税局]	○麦芽CIF単価64,857円、ホップは1,322円—1月の麦芽・ホップ輸入通関…………… 7
[目覚まし]	大阪人はよく知っている…………… 4
[社 告]	在宅勤務など対応、PDF版の期間限定・読者サービスのお知らせ…………… 2
[資 料]	○2020年1月の麦芽輸入通関実績…………… 7
	○2020年1月のその他の醸造酒売れ筋ランキング(販売金額ベスト50)…………… 9
	○2020年1月「清酒」県別課税移出数量一覧…………… 10
	○2020年1月「単式蒸留焼酎」県別課税移出数量一覧…………… 11



◎ 1月の清酒課税移出数量は7.0%減の2万4,910klに—酒造中央会

日本酒造組合中央会が発表した1月の課税移出数量によると、清酒の課税移出数量は前年比7.0%減の2万4,910klとなった。輸出は20.7%減の1,465klと大幅減となっている。1月は消費税増税の環境下で消費は弱含み、輸出については、新型コロナウイルスの影響が本格化する前ではあったものの、韓国、香港向けの輸出が難しい情勢だったと考えられる。

タイプ別には、吟醸酒が3.8%減、うち純米吟醸酒が0.7%減、純米酒が2.8%減、本醸造酒が2.9%減、一般酒が9.6%減となった。

県別に見ると、兵庫は1.5%減、京都は15.7%

減、新潟は1.7%減となった。兵庫と新潟は全体の減少幅より小さい微減に抑えたが、京都は大幅減となっている。

	1月分		
	2020年	2019年	対比
清酒	概24,910 KL	確27,178 KL	91.7 %
＜タイプ別＞			
吟醸酒	4,158	4,323	96.2
(うち純米吟醸酒)	2,919	2,938	99.3
純米酒	4,040	4,155	97.2
本醸造酒	2,158	2,223	97.1
一般酒	14,554	16,093	90.4
合計	24,910	26,793	93.0
(うち生酒)	2,781	2,868	97.0
輸出	1,465	1,848	79.3

※概(概数)は中央会調、確(確数)は国税庁調。「清酒」欄の「累計」の数量は、単月の概数とそれ以前の月の確数との計、「タイプ別」欄の数量は全て概数のため数字は合致しない。

◎ 1月の本格焼酎課税移出数量は7.4%減の2万3,611klに—酒造中央会

日本酒造組合中央会が発表した1月の単式蒸留焼酎の課税移出数量は、前年比7.4%減の2万3,611klとなった。度数別には20度が1.2%増、25度が8.5%減、35度が10.0%減となり、20度でわずかに増加したものの、メインの25度で大きく減少している。輸出は数量は小さいものの、37.0%増と増加した。

原料別には、さつまいもが9.2%減、麦が5.7%減、米が4.5%減、そばが5.7%減、酒かすが7.5%減とそれぞれ減少した。

県別には、宮崎が10.0%減、鹿児島が6.2%減、大分が4.4%減、福岡が11.1%減、沖縄が

7.3%減と主要な県でいずれも大きく減少した。100kl以上の生産量の県で増加したのは佐賀県の23.3%増のみ。

	1月		
	2020年	2019年	対比
単式蒸留焼酎	概23,611 KL	確26,254 KL	89.9 %
度数別			
20度	2,993	2,957	101.2
25度	20,383	22,279	91.5
35度	234	260	90.0
合計	23,611	25,495	92.6
原料別			
さつまいも	10,813	11,914	90.8
米	2,048	2,144	95.5
麦	9,624	10,210	94.3
そば	383	406	94.3
酒かす	27	29	92.5
その他	716	792	90.4
輸出	67	49	137.0

※日本酒造組合中央会調べ。「単式蒸留焼酎」の量は各月の「確数」と「概数の計」で、「度数別」「原料別」の数量は各月の概数であり数量は一致しない。

◎ 国税庁がHACCP制度化について、小規模事業者の対応内容を公表

国税庁は5日、「HACCPに沿った衛生管理の制度化について」ホームページ上で公表した。HACCPに沿った衛生管理の義務化に伴うもので、小規模事業者(食品の取扱いに従事する者の数が50名未満)が取り組む必要がある「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」に関する事項を

説明するもの。令和2年6月1日の施行日から、1年間の猶予がある。

日本酒造組合中央会等業界団体が作成した酒類製造業における手引書をもとに管理を行うことが可能と説明した上で、新たに実施することなどをまとめた。

【社告】在宅勤務など対応、PDF版の期間限定・読者サービスのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現在、多くの企業で在宅勤務やテレワークが義務化・推奨されております。本紙では、3月5日付から3月13日付までの期間限定で、在宅勤務などで本紙を閲覧できない購読者の方で、ご希望の方に、無償にてPDF版をお送りいたします。ご希望される方は次のメールアドレスまで、社名・部署名・お名前・メールアドレス・電話番号を明記して、お送りください。送り先=sake@ssnp.co.jp

なお、同じ社でご希望が多数の場合、企業窓口様に一括してメールをご送信頂く場合もあります。

食品産業新聞社「酒類飲料日報」編集部

◎ 1月の新ジャンル輸入、前年比8.3%増の53万c/s—貿易統計

貿易統計によると、1月のビールタイプ新ジャンル(主に小売PB)の輸入量は、前年比108.3%の53万c/s(大瓶20本換算)となった。小売流通大手の韓国産新ジャンルが2018年6月発売時から国内製造品となったことを契機として、市場は漸減傾向にあったが、ようやく1月はプラスに転じた。

国別にみるとシェアの78%を占める韓国が110.9%。続いてベトナム122.9%、タイ213.0%、台湾142.1%などと上位国が軒並みプラスとなった。

なお、1月の新ジャンル市場で、輸入の占める割合は5.6%程度と推定される。

1月の各国の数量、前年比と輸入シェア

	万c/s	前年比%	シェア%
韓国	42	110.9	78.2
ベトナム	8	122.9	14.6
タイ	1	213.0	2.8
台湾	1	142.1	1.9
ベルギー	1	29.2	1.8

輸入新ジャンルの輸入量推移

		大瓶換算	前年比
		万c/s	%
2008年	1~12月累計	389	173.7
2009年		648	166.5
2010年		1,038	160.2
2011年		1,533	147.6
2012年		1,700	110.9
2013年		1,771	104.0
2014年		1,771	99.96
2015年		1,632	92.1
2016年		1,427	87.5
2017年		1,431	100.3
2018年	960	67.1	
2019年	610	63.5	
2020年	1月	53	108.3

※2012年3月以前は発泡酒含む

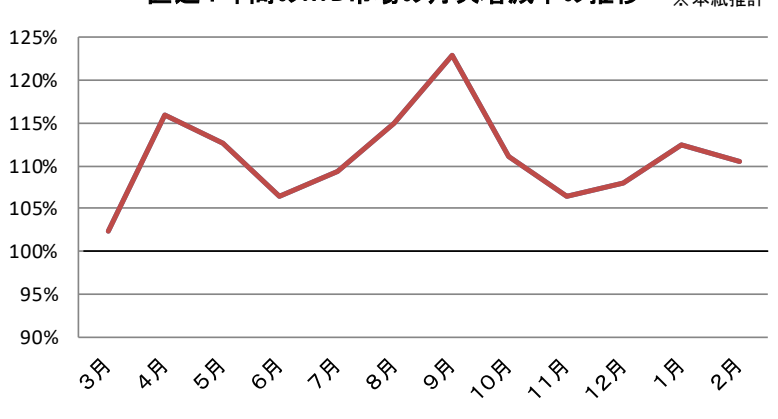
◎ 2月のRTD総市場は「檸檬堂」除いて前年比10%増—本紙推定

本紙が推定した2月のRTD総市場(ハイボール缶・業務用樽詰めサワー含む、「檸檬堂」除く)は、前年比110%の1,790万箱(250ml×24本換算)となった。

主要4社は全社ともプラス。サントリーは2割弱の増、キリンは1ケタ台前半の増、アサヒは1割増、宝酒造は1割強の増。主要ブランドでは、「氷結」計が微減、「-196℃」計が1ケタ台の減、「焼酎ハイボール」計が1割強の増、「ほろよい」計が微増、「本搾り」計が1ケタ台前半の増などとみられる。

1~2月累計では111%の3,380万c/sと推計。主要4社は、全社ともプラス。サントリーは2割増、キリンは1ケタ台後半の増、アサヒは1割増、宝酒造は2割弱の増とみられる。主要ブランドでは、「氷結」計が1ケタ台前半の

直近1年間のRTD市場の月次増減率の推移 ※本紙推計



増、「-196℃」計が微減、「焼酎ハイボール」計が2割弱の増、「ほろよい」計が1ケタ台の減、「本搾り」計が1割増とみられる。

ハイボール缶の総市場は2月が109%、1~2月累計で112%とみられる。

◇ アサヒ GHD 小路明善社長らが聖火リレー

アサヒグループホールディングスは5日、小路明善社長など3人が東京2020オリンピック聖火リレーのランナーとして走行すると発表した。▽3月28日(土)・福島県=アサヒ GHD 代表取締役社長兼 CEO・

小路明善氏▽7月5日(日)・茨城県=アサヒビール代表取締役社長・塩澤賢一氏▽7月20日(月)・東京都=アサヒ GHD 取締役会長兼取締役会議長・泉谷直木氏。

◎ 「樽ハイ倶楽部」 缶入り RTD 発売 「もっと家飲みを楽しむニーズ」 応える

アサヒビールは3月31日から、缶入り RTD「樽ハイ倶楽部レモンサワー」「樽ハイ倶楽部大人のサワー」(500ml/191円、350ml/141円、アルコール分8%)を発売する。



「樽ハイ倶楽部」は、1984年にニッカウヰスキー社と共同開発し、首都圏限定で「樽ハイ倶楽部レモン」の販売を開始、1999年には「同 プレーン」、2003年には「同 ドライ」を発売した。2019年末現在で約13万店の飲食店で取り扱われており、35年以上の歴史がある人気のブランド。また、2019年には年間で約1億杯以上(1杯300ml換算)を売り上げており、過去最高売り上げを記録した他、樽詰めサワー市場全体の57.1%を占めるなど、圧倒的な存在感を持つ。

「レモンサワー」は、レモンとウォッカをバランス良く配合しており、「大人のサワー」は、ほのかな柑橘の風味が感じられる味わいが特長。そのまま飲んでも、柑橘系のフルーツなどを組み合わせても楽しめる。

パッケージの表面には、「居酒屋で超人気」と大きく記載するとともに、「樽ハイ倶楽部」のロゴが入ったグラスを中央に配置し、居酒屋で人気の商品を飲んでいる雰囲気を演出した。裏面には「10万店が認めたサワー」の文言と「樽ハイ倶楽部」が35年以上の歴史あるブランドであることを記載し、多くの飲食店で長年取り扱っていることを訴求する。

5日には同社RTDマーケティング部の高橋利和部長が、市場概況や同商品の詳細、発売に至るまでの経緯を説明した。

○ 目標はブランド計で100万ケースを目指す
高橋部長＝当社が昨年秋、5,000人を対象にして行った調査では、消費税増税後は約25%が“外飲みが減り、家飲み頻度が増える”と回答した。また、別の調査では“飲食店で提供されているお酒と言われるとおいしそうなお酒を受けたい”“飲食店と同等の品質の商品が家でも飲めるなら飲んでみたい”“雰囲気まで楽しめそう”など、飲食店のお酒を家でも気軽に飲めれば嬉しいというニーズがあることが判明した。

当社の今年のRTD戦略は「独自価値領域」ブランドに集中することとしており、“もっと果実感を楽しみたい”というニーズに対しては最重点ブランドに設定している「贅沢搾り」を、コスパや“お酒感”にプラスαの価値を加えた商品としては「もぎたて」「ウィルキンソンRTD」を提案する。そして前述の調査で明らかになった、ユーザーが持つ“もっと家飲みを楽しむニーズ”に応えるべく、「樽ハイ倶楽部レモンサワー」「同 大人のサワー」を発売する。

パッケージでわかりやすく商品特長を訴求するとともに、長年お客様から支持されてきた味わいを、手軽な缶入りRTDで再現している。

コミュニケーションではタレントのMr.マリックさんを起用し、発売前から発売後に至るまで量販店・料飲店でのユーザー接点の拡大に努めていく。また、飲食業界と接点が大きなWEBサイト「食ベログ」も活用していく。

同ブランドの年間目標数量は100万ケース(250ml×24本換算)としており、当社RTD事業全体で7年連続増収、過去最高売り上げとなる467億円を目指す。

【目覚まし】 大阪人はよく知っている

○…上の記事、「大人のサワー」は猛烈に餃子が欲しくなるし、「レモン」は何が何でもから揚げが欲しくなる。○…缶入りの「樽ハイ倶楽部」を試飲させてもらったが、本当にお店で出てくるあの味わいなのだ。同社の担当者曰く「完全に同じではない」としながらも「飲用時の品質は限りなく料飲店で出てくるものに近づけてある」という。○…商談の様子も聞かせていただいたが、かなり好調とのこと。大々的なTVCMの投入は予定していないというが、やはり36年間も圧倒的な支持を得てきた商品となると、反応は違わらしい。○…「じっくり育てて、認知度を高めていきたい」と先ほどの担当者。記者は、大阪の飲食店で、あのロゴタイプと「紳士と淑女」のデザインが入ったジョッキやタンブラーが印象的で、酒類業界に入る前から「樽ハイ倶楽部」の存在はよく知っていた、ということをお伝えすると「関西地区での採用店舗数はかなり多い」とのこと。やはりか。○…よく親しんだ味わいの商品が家でも手軽に飲めるということで、今から発売日が楽しみである。

◎ ワイン&リカー試飲展示会、「カバラン」日本未発売商品も—伊藤忠食品

(大阪発)伊藤忠食品の西日本営業本部は2月26日、大阪市内のホテルで「第三回 ワイン&リカー試飲展示会 2020」を開催した。「新地で開拓！」をテーマに、酒類・食品メーカーなど37社が出展、取引先および料飲店など約300人が来場した。会場では同社が取り扱う海外酒類ブランドのうち、世界3大スパークリングワインのひとつフランチャコルタのパイオニア「ベルルッキ」と、数々の受賞歴を誇り世界を魅了する台湾のウイスキー「カバラン」を大々的に紹介した。また、バーやスナックなどの来場者が多い同展示会では、食品メーカーのブースや特設コーナーで、レシピ動画メディアを運営するエブリーの「DELISH KITCHEN」を使ったおつまみレシピの提案なども行った。

同社ブースでは、イタリアのスパークリングワイン、フランチャコルタの「ベルルッキ61」シリーズを試飲とともに紹介した。フ



ランチャコルタは世界3大スパークリングワインのひとつ。同社は料飲店を中心に導入を提案しており、フランチャコルタ自体の認知度向上にも取り組んでいる。「ベルルッキ・61ブリュット」は同シリーズの王道アイテムで、シャルドネ90%、ピノ・ノワール10%のバランスのよい仕上がりとなっている。シャルドネ100%の「ベルルッキ・61サテン」は、脂っこさをさらりと流す飲み口で、肉料理に合うという。「ベルルッキ・61ロゼ」は、味のみならずピンク色の見映えの良さも、これからの花見シーズンやイベント事に向けてアピールできるとしている。「フランチャコルタは、イタリア料理だけでなく寿司や焼鳥にも合う」(担当者)と、幅広い料理とのペアリングのしやすさもPRした。

今年で国内発売4年目を迎える台湾のウイスキー「カバラン」は、日本国内ブランドマネージャーを務めるリードオブジャパン営業本部ブランド戦略部マネージャー金熙俊氏(写真)が「カバランウイスキー」13アイテムと日本未発

売アイテムの試飲・提案を行った。同氏によると、「カバランは、エントリーモデルの『ディステイラリーセレクト』がけん引し、昨年はボトル販売数で前年比125%と伸長した。今年は昨年を7,000本上回る4万5,000本を計画してい



る」。1月の前年同期比ではプラスで推移しており、同氏は「目標は達成できるだろう」と自信を見せた。同日は、日本未発売の「コンサートマスター シェリーカスクフィニッシュ」を試飲とともに紹介した。同商品は、ホテルのバーやオーセンティックバー向けに4月上旬から発売予定。また、「ソリスト」のピーティウイスキーをカスク限定で発売することも計画している。「ピートで燻したウイスキーはカバランでは初めて。“待ってました”との声も聞かれる」という。

都光は長浜浪漫ビールが製造するブレンデッドモルト「AMAHAGAN」を紹介した。同社の長濱蒸溜所は、ワールドウイスキーアワード2020に5つのボトルを出品した。同アワードでは「AMAHAGAN (アマハガン) World Malt Edition



No.3 Mizunara Wood Finish」が「ジャパニーズブレンデッドモルトノンエイジ部門」の部門最高賞を受賞したほか、出品したボトル全てが入賞した。同社は2016年からウイスキーの製造をスタートし、「1日1樽をモットーに、丁寧に手間暇かけて造っている」という。同社担当者は、「小さめのポットスタイルを活かして、マスターブレンダーを筆頭に試行錯誤しながら製造した。ブラインドテイastingで審査される同賞で味が評価されたことは嬉しい」と喜びを口にした。25日には同シリーズ最新作の「AMAHAGAN World Malt Edition 山桜 Yamazakura Finish」を発売する。

◎ ゼロの市場に日本の酒を、現地の文脈で浸透図る—小林順蔵商店

(大阪発) 1890年に創業し、羊毛の輸入卸を手がけていた小林順蔵商店は現在、スイス、ルーマニア、北欧など「日本酒がゼロ」の地域に日本酒を届ける事業を展開している。貿易事業のみならず、イベントの企画・運営、蔵元や現地インポーターへの情報提供・販拓サポートといったマーケティング事業なども行う。貿易機能と現地業者とのパートナーシップを生かして、日本の蔵元と海外市場の橋渡しを担う同社に取材した。



イギリスの高校に留学経験をもつ小林順蔵商店の小林佑太郎代表取締役は、蔵元と現地業者を仲介する意義について、「相互の商慣習や生活習慣、文化的背景などを踏まえて、言語に留まらない“通訳”をすることが重要」と強調する。同社がイベント出展やマーケティング事業に力を入れる所以だ。



ゼロの国に日本酒を輸出しても、和食店や和食関連食材の売場などで現地在住の日本人が手に取るだけでは定着しない。現地の商慣習や食文化に詳しいインポーターやディストリビューターなどのビジネスパートナーと協働して、「現地の文脈で日本酒を根付かせる」ことを目指している。

紹介する日本酒は、「新しい市場を一緒に開拓していくという点に共感する蔵元」の商品。日本国内では埋もれてしまっている蔵や銘柄で

も、日本酒がゼロの地域では「SAKEと言えればその名を知らない人はい

い」ほどの知名度を獲得する可能性がある。嗜好品である商材で“ゼロを1に”することは容易ではないが、蔵元の思いが伝わるよう、じっくりと市場を育む手間を惜しまない。小林氏自ら蔵元と共に現地に赴き、イベント出展などでのPRに取り組んでいる。



同社は昨年、情報サイト「IKKI (イッキ) Sake Media for the WORLD」をリリースした。日本酒に興味があるがどこで情報収集すればよいか分からないとの海外の業者の声を受けて開設した、英語のBtoB情報サイトだ。貿易関連情報や日本酒の基本情報に加えて、日本酒の保存方法や飲み方、酒造りの背景にある各蔵のストーリーなども紹介している。

輸出先で日本酒が浸透するには、現地の料飲店や小売店での保管状態や提供方法が鍵となるが、一軒一軒訪問し助言するには限界がある。そこで、サイトにアクセスしてもらうことで日本酒を扱う現地の業者や料飲店に広く情報提供できるようにしたという。今後は、現地の営業ツールとしても利用できる動画コンテンツの充実や、物流をスムーズにする自動見積機能の付加などを計画している。

同氏は、「伝統文化に敬意を払いながらも、“べき”にとらわれず、現地の人と共に独自の日本酒の進化を考えていきたい」と語る。ゼロから1の開拓、そして日本酒文化の革新をも見据えている。

◇ ペルノ・リカールが京都蒸留所と資本提携

フランスのペルノ・リカールは5日、Number One Drinksが運営する「京都蒸留所」と資本提携を行うことを発表した。出資金で、新蒸留所を京都市内に建設し、日本初のプレミアムジン「季の美」の需要増加に応える。

同社は2016年に、ドイツのクラフトジン「モンキー47」を買収。昨年はイタリアのプレミアムジン

「マルフィ」を買収するなど、戦略計画「トランスフォーム&アクセラレート」(変革し、加速する)に基づき、積極的にプレミアムカテゴリーのポートフォリオを拡大している。「季の美」で“モンキー47”と共に強力なレパートリーを形成し、ウルトラプレミアムジンの成長を加速させる(同社)。京都蒸留所共同創業者デービッド・クロール氏、角田紀子・クロール氏、マーチン・ミラー氏は今後も京都蒸留所の運営を担い、世界全域への販路拡大に取り組む。

◎ 19年のスコッチウイスキー輸出は4.4%増、日本向け数量19.7%増で4位

スコッチウイスキー協会はこのほど、2019年の輸出状況を発表した。金額は前年比4.4%増の49億1000万ポンド、数量は2.1%増の13億1000万本だった。

スコッチウイスキーは現在、世界180市場に輸出されている。輸出全体の25%を占めるアジア・オセアニアが、金額で9.8%増とけん引した。また、輸出シェアでは4%のアフリカも11.3%増。30%を占めるEUは5.4%増だった。アメリカは金額で2.8%増も、数量では7%減。今後は、現在25%の関税が引き上げられる可能性があり、影響が心配される。

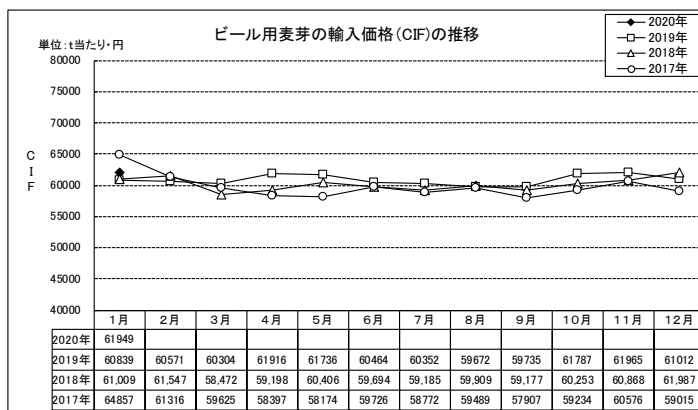
日本への輸出は、金額が16.1%増の1億4,700万ポンドで世界8位、数量で19.7%増の6,000万本で4位だった。

数量			金額				
	単位：100万本	前年比：%		単位：100万£	前年比：%		
1	フランス	173	92.1	1	アメリカ	1069	102.8
2	インド	131	116.1	2	フランス	432	97.6
3	アメリカ	127	93	3	シンガポール	300	93.7
4	日本	60	119.7	4	台湾	205	122
5	スペイン	56	101.7	5	ドイツ	184	105.6
6	メキシコ	51	86	6	スペイン	180	104.8
7	ドイツ	50	108.3	7	インド	166	119.7
8	シンガポール	44	98.4	8	日本	147	116.1
9	ブラジル	43	110	9	ラトヴィア	142	108.1
10	南アフリカ	42	100.2	10	メキシコ	121	91.9

◎ 麦芽 CIF 単価 64,857 円、ホップは 1,322 円—1月の麦芽・ホップ輸入通関

財務省関税局が発表した1月の麦芽輸入通関実績は、ビール用麦芽（関税割当数量内・その他のもの）t当たり単価6万4,857円（前年

比4%減）だった。また、ホップのkg当たりCIF単価は1,322円。前年同月は1,144円だった。



品名	国名	数量	価額
(粉状又はベレット状)	ドイツ	38,780 kg	41,518 千円
	チエコ	16,400	19,237
	米国	10,944	24,138
	豪州	1,490	4,474
	計	67,614	89,367
	<前年計>	102,189	116,734
総計		67,614	89,367
<前年総計>		102,211	116,948

品名	国名	数量	価額
(ホップの液汁及びエキス)	英国	2,080 kg	1,552 千円
	ドイツ	7,092	41,753
	米国	6,440	59,995
	計	15,612	103,300
<前年計>		8,242	33,788

—資料— 2020年1月の麦芽輸入通関実績

品名	数量	価額	品名	数量	価額		
[関税割当数量内]	t	千円		t	千円		
(炒っていない麦芽を 泥炭でくん蒸したもの)	英国	726	47209	合計	37,146	2,306,364	
	計	726	47209	<前年合計>	33,763	2,068,209	
(その他のもの)	デンマーク	298	15,636	[関税割当数量外]	英国	511	40,702
	英国	4,692	298,897	(炒っていない麦芽を 泥炭でくん蒸した以外のもの)	フランス	163	11,790
	オランダ	1,475	87,147		ドイツ	58	6,619
	ベルギー	742	45,876		チェコ	50	3,819
	フランス	6,174	346,401		オーストラリア	118	9,617
	ドイツ	3,216	195,876		計	900	72,547
	チェコ	440	24,971	(炒ったもの)	ドイツ	5	521
	カナダ	11,365	736,633		米国	2	611
	米国	75	5,102		オーストラリア	55	5,912
	オーストラリア	7,730	486,441		計	62	7,044
	計	36,207	2,242,980	合計	962	79,591	
(炒ったもの)	英国	60	4,975	<前年合計>	1,021	79,426	
	ドイツ	90	5,746	総計	38,108	2,385,955	
	カナダ	3	324	<前年総計>	34,784	2,147,635	
	オーストラリア	60	5,130				
	計	213	16,175				

◇ キリンビール4月1日付人事異動

[企画部] 主幹(キリンホールディングス経理部事業経理担当主査) 笹川博和▽主幹(キリンホールディングスコーポレートコミュニケーション部主査) 大谷哲司。

[マーケティング本部] 事業創造部主幹、マーケティング部 RTD カテゴリー戦略担当主幹・佐藤勇▽事業創造部エグゼクティブ・フェロー(マーケティング部新規事業創造担当エグゼクティブ・フェロー) 和田徹▽営業部営業推進室長(マーケティング部企画担当主査) 阿部学▽営業部量販政策担当主幹(営業部チャンネル政策担当主査) 石川順一▽営業部料飲政策担当主幹(営業部チャンネル政策担当主幹) 浅沼裕之▽営業部法人担当主幹(広域法人統括本部広域法人支社広域法人2部長) 山本泰仁▽業務支援担当主幹(業務支援担当主査) 大塚宗太郎。

[マーケティング本部北海道統括本部]▽セールスサポート部長兼総務部長(関東甲信越統括本部群馬支社長兼関東甲信越統括本部群馬支社営業部長兼マーケティング本部関東甲信越統括本部群馬支社業務部長) 小林直人▽北海道流通支社長(北海道流通支社営業2部長) 宮田幸司▽北海道流通支社流通第1支店長(北海道流通支社営業1部担当部長) 梅田和徳▽北海道流通支社流通第2支店長(北海道流通支社営業1部ラインリーダー) 黒田直幸▽北海道MD支社長兼北海道統括本部北海道MD支社道東エリアマネージャー兼北海道統括本部北海道MD支社札幌エリアマネージャー(北海道支社道北支店長) 北海道支社道北エリアマネージャー・今津宏志▽北海道支社長兼マーケティング本部北海道支社北海道支店長(広域販売推進統括本部広域販売推進第2支社営業2部長) 平野啓太▽北海道支社札幌支店長(札幌支社第2支店長) 近藤慎人▽北海道支社道央支店長(マーケティング部ビール類カテゴリー戦略担当主務) 木村正一。

[東北統括本部] セールスサポート部長(近畿圏統括本部近畿圏流通第1支社長) 廣瀬裕三郎▽東北流通支社流通第1支店長(東北流通支社北東北流通部長) 中山信太郎▽東北流通支社流通第2支店長(東北流通支社南東北流通部担当部長) 年代明広▽東北流通支社流通第3支店長(東北流通支社北東北流通部担当部長) 津田淳希▽南東北支社南東北支店長(東北MD支社福島エリアマネージャー) 増田公紀▽北東北支社北東北支店長(近畿圏統括本部近畿圏営業推進支社営業2部長) 秋山哲夫。

[関東甲信越統括本部] セールスサポート部長(営業企画部副部長) 高橋良之▽関東甲信越流通支社甲信越流通支店長(関東甲信越流通支社甲信越流通部長) 藤澤有史郎▽関東甲信越流通支社北関東流通支店長(関東甲信越流通支社北関東流通部長) 澤田敏

博▽新潟支社新潟支店長(新潟支社営業部ラインリーダー) 雑賀利浩▽北関東支社長(営業企画部長) 和田烈岳▽北関東支社茨城支店長(東北統括本部北東北支社岩手支店長) 泉水謙二▽北関東支社栃木支店長(栃木支社営業部ラインリーダー) 出口幸宏▽北関東支社群馬支店長(群馬支社営業部ラインリーダー) 大戸昭雄。

[首都圏統括本部] 総務部長兼関東甲信越統括本部総務部長(キリンホールディングス人事総務部人事担当主幹兼人事総務部主幹兼キリンビバレッジ人事総務部人事担当担当部長) 山下豊禎▽特約店営業部長兼特約店営業部営業部長(広域流通統括本部広域特約店営業部営業部担当部長) 岸達哉▽首都圏流通第1支社流通第1支店長(首都圏流通第1支社営業1部長) 小寺基成▽首都圏流通第1支社流通第2支店長(首都圏流通第1支社営業2部ラインリーダー) 名島功▽首都圏流通第1支社流通第3支店長(首都圏流通第1支社営業2部長) 阿部勉▽首都圏流通第2支社流通第1支店長(首都圏流通第2支社営業1部長) 尾崎隆▽首都圏流通第2支社流通第2支店長(首都圏流通第2支社営業2部長) 伊夫伎利直▽首都圏流通第3支社流通第1支店長(首都圏流通第3支社営業部長兼首都圏流通第3支社業務部長) 首都圏流通第3支社長・松本崇▽首都圏流通第3支社流通第2支店長(首都圏流通第3支社営業部ラインリーダー) 久保修▽首都圏流通第4支社流通第2支店長(首都圏流通第4支社営業部長兼首都圏流通第4支社業務部長) 首都圏流通第4支社長・湯本良▽首都圏流通第4支社流通第1支店長(首都圏流通第4支社営業部ラインリーダー) 武林正▽首都圏営業推進支社第1支店長(首都圏営業推進支社営業部長) 藤本大輔▽首都圏営業推進支社第2支店長(首都圏営業推進支社営業部ラインリーダー) 武川洋太▽首都圏営業推進支社第3支店長(首都圏営業推進支社営業部担当部長) 植本将雄▽東京支社中央第1支店長(東京支社東京中央支店長) 築瀬守康▽東京支社中央第2支店長(東京支社東京中央支店ラインリーダー) 豊崎亮▽東京支社東支店長(東京支社東京東支店長) 佐藤勝▽東京支社北支店長(東京支社東京東支店ラインリーダー) 山田千仁▽東京支社南支店長(東京支社東京南支店ラインリーダー) 山路雅史▽東京支社西第1支店長(東京支社東京南支店ラインリーダー) 井口功二郎▽東京支社西第2支店長(東京支社東京西支店ラインリーダー) 秋山一郎▽東京支社多摩支店長(東京支社東京西支店長) 鈴木秀明▽東京支社販売推進第1支店長(東京支社販売推進部長) 佐々木泉▽東京支社販売推進第2支店長(東京支社販売推進部ラインリーダー) 興石昌秀▽東京支社販売推進第3支店長(マーケティング本部営業部TOPチーム主務) 菊池真。(つづく)

—資料— 2020年1月のその他の醸造酒売れ筋ランキング (販売金額ベスト50)

(KSP-POS, 税別)

順位	名 称	販売金額	金額シェア	販売数量	数量シェア	平均単価	カバー率
1位	のどごし生 缶 350ml×6 (麒麟麦酒)	72,949 千円	34.62 %	117,255 個	21.55 %	622 円	99.0 %
2位	のどごし生 350ml×6×4 (麒麟麦酒)	33,511	15.90	13,724	2.52	2,442	78.7
3位	のどごし生 缶 500ml×6 (麒麟麦酒)	29,445	13.97	32,762	6.02	899	96.9
4位	のどごし生 缶 500ml (麒麟麦酒)	21,472	10.19	135,005	24.81	159	98.8
5位	のどごし生 缶 350ml (麒麟麦酒)	18,380	8.72	163,130	29.97	113	98.9
6位	のどごし生 500ml×6×4 (麒麟麦酒)	7,754	3.68	2,207	0.41	3,514	45.0
7位	のどごし生 缶 250ml (麒麟麦酒)	3,903	1.85	39,385	7.24	99	69.4
8位	ドラフトワン 缶 330ml×6 (サッポロビール)	2,927	1.39	5,134	0.94	570	19.4
9位	ドラフトワン 缶 330ml×6×4 (サッポロビール)	2,594	1.23	1,147	0.21	2,262	13.7
10位	のどごし生 250ml×6 (麒麟麦酒)	2,380	1.13	4,102	0.75	580	43.8
11位	のどごし生 マイレージCP 350ml×6×4 (麒麟麦酒)	1,480	0.70	590	0.11	2,509	15.6
12位	ドラフトワン 缶 470ml×6 (サッポロビール)	1,286	0.61	1,596	0.29	806	12.6
13位	紹興酒 塔牌 花彫 陳五年 600ml (宝酒造)	1,227	0.58	1,463	0.27	839	47.3
14位	ジョッキ生 缶 350ml×6 (サントリー)	992	0.47	1,574	0.29	631	8.3
15位	ドラフトワン 缶 470ml×6×4 (サッポロビール)	955	0.45	300	0.06	3,183	7.8
16位	のどごし生 缶 350ml×24 (麒麟麦酒)	823	0.39	358	0.07	2,299	1.0
17位	ドラフトワン 缶 330ml (サッポロビール)	819	0.39	8,268	1.52	99	19.5
18位	ドラフトワン 缶 470ml (サッポロビール)	799	0.38	5,665	1.04	141	14.3
19位	ジョッキ生 缶 350ml×6×4 (サントリー)	748	0.36	303	0.06	2,469	4.5
20位	ジョッキ生 缶 500ml×6 (サントリー)	659	0.31	723	0.13	912	6.4
21位	ジョッキ生 缶 500ml×6×4 (サントリー)	571	0.27	161	0.03	3,552	3.5
22位	のどごし生 250ml×6×4 (麒麟麦酒)	415	0.20	190	0.03	2,185	8.2
23位	のどごし生 マイレージCP 500ml×6×4 (麒麟麦酒)	394	0.19	110	0.02	3,583	5.7
24位	のどごし生 缶 500ml×24 (麒麟麦酒)	351	0.17	108	0.02	3,250	0.7
25位	ジョッキ生 缶 500ml (サントリー)	350	0.17	2,200	0.40	159	8.5
26位	國盛 純米どぶろく 720ml (中禁酒造)	333	0.16	235	0.04	1,418	9.1
27位	古越龍山金龍 600ml (永昌源)	311	0.15	378	0.07	825	11.1
28位	ユーロホップス 330ml×6缶 (富士貿易)	246	0.12	506	0.09	487	1.8
29位	ジョッキ生 缶 350ml×6×4 (サントリー)	206	0.10	83	0.02	2,482	1.0
30位	のどごし生キャンパン缶350ml×6×4 (麒麟麦酒)	201	0.10	81	0.01	2,492	3.0
31位	ジョッキ生 缶 350ml (サントリー)	197	0.09	1,755	0.32	113	7.8
32位	古越龍山銀龍 600ml (永昌源)	194	0.09	312	0.06	624	9.6
33位	紹興酒 塔牌 花彫 陳五年 180ml (宝酒造)	121	0.06	427	0.08	284	11.8
34位	紹興酒 曲溪 瓶 600ml (サントリー)	114	0.05	218	0.04	527	5.0
35位	東肥 赤酒(料理用) ペットボトル 1L (瑞鷹)	107	0.05	158	0.03	680	3.2
36位	タカラ 料理のための紹興酒 壺 300ml (宝酒造)	106	0.05	268	0.05	399	10.8
37位	古越龍山金龍 180ml (永昌源)	102	0.05	352	0.06	291	12.0
38位	東肥 赤酒(飲用) 720ml (瑞鷹)	98	0.05	157	0.03	629	2.1
39位	紹興老酒クリアー 12年 500ml (中華人民共和国)	90	0.04	60	0.01	1,501	0.9
40位	國盛 純米どぶろく 300ml (中禁酒造)	87	0.04	142	0.03	616	3.2
41位	ジョッキ生 缶 350ml×6 (サントリー)	86	0.04	136	0.02	637	0.9
42位	紹興酒 塔牌 花彫 陳五年 360ml (宝酒造)	85	0.04	159	0.03	535	7.9
43位	どぶろく 640ml (天領酒造)	82	0.04	64	0.01	1,286	1.2
44位	宝星 地酒 13.5度 900ml (本坊酒造)	80	0.04	145	0.03	555	1.1
45位	紹興酒 塔牌 花彫 陳三年 600ml (宝酒造)	73	0.03	126	0.02	583	3.7
46位	特撰 陳年紹興酒 塔牌 陳八年 600ml (宝酒造)	45	0.02	35	0.01	1,287	1.8
47位	煌鼎牌 陳年10年紹興花彫酒 640ml (友盛貿易)	34	0.02	57	0.01	601	1.1
48位	タカラボシ 地酒 1.8l (本坊酒造)	34	0.02	36	0.01	950	0.9
49位	関公 紹興花彫酒 赤ラベル 瓶 (日和商事)	32	0.02	55	0.01	582	1.5
50位	のどごし生キャンパン缶500ml×6×4 (麒麟麦酒)	30	0.01	8	0.00	3,873	0.6

<対象店舗> 東光ストア、ホクレン、ラルズ、みやぎ生協、セーブオン、千葉薬品、サミット、東急ストア、福井県経済連、いちやまマート、マックスバリュ中部、関西スーパー、トーホー、天満屋ストア、イズミ、西鉄ストア、鹿児島県経済連—など1037店舗。

—資料— 2020年1月「清酒」県別課税移出数量一覽

(単位:kl、%)

(日本酒造組合中央会調)

都道府県名	吟醸酒		(うち純米吟醸酒)		純米酒		本醸造酒		一般酒		計		
	本年	対比	本年	対比	本年	対比	本年	対比	本年	対比	本年	対比	
東京	東京	28.1	78.2	19.7	77.3	57.3	152.0	15.4	80.7	38.8	84.6	139.6	100.7
	神奈川	25.9	113.1	17.5	116.0	26.4	92.0	14.7	169.9	14.0	72.6	81.0	101.9
	千葉	48.9	101.9	31.1	104.8	42.3	53.8	14.8	89.9	608.4	86.7	714.4	84.5
	山梨	40.4	96.0	39.3	95.7	155.7	95.0	12.9	84.4	451.1	92.7	660.0	93.2
	計	143.2	96.3	107.6	96.7	281.6	91.2	57.9	97.2	1,112.2	88.7	1,595.0	90.1
関信	埼玉	51.7	123.2	29.5	134.2	87.3	102.5	79.7	91.8	863.5	96.0	1,082.1	97.2
	茨城	48.7	84.5	29.0	72.1	44.9	106.0	17.0	93.4	124.2	91.6	234.8	92.5
	栃木	67.0	97.0	47.4	97.0	57.2	77.8	22.1	85.2	264.7	81.7	411.1	83.4
	群馬	46.2	91.9	36.6	95.8	30.5	94.1	40.2	77.1	60.1	115.3	176.9	94.7
	長野	151.9	94.2	132.5	100.4	123.2	95.3	70.0	95.4	257.4	88.0	602.6	91.8
	新潟	847.9	101.0	453.8	110.2	238.1	93.4	470.4	99.3	812.0	96.6	2,368.4	98.3
	計	1,213.4	99.4	728.8	105.2	581.2	94.1	699.4	95.8	2,381.8	93.6	4,875.8	95.4
大阪	大阪	16.7	85.9	11.8	88.5	13.9	84.4	14.4	92.6	33.3	93.4	78.3	89.9
	京都	239.1	93.6	160.5	89.5	426.2	113.6	57.2	83.5	3,220.7	81.0	3,943.2	84.3
	兵庫	257.5	88.5	109.5	80.6	541.8	100.2	392.5	130.1	4,595.7	96.9	5,787.4	98.5
	奈良	59.6	87.0	55.8	87.6	97.1	111.3	18.7	80.3	42.4	79.5	217.8	93.7
	和歌山	33.4	98.1	19.7	96.0	31.3	89.0	3.8	83.2	35.9	97.5	104.4	94.4
	滋賀	43.0	109.5	40.4	110.5	34.7	81.4	12.9	88.9	43.4	116.8	134.1	100.3
	計	649.3	91.8	397.5	88.5	1,145.0	104.3	499.5	116.7	7,971.5	89.7	10,265.2	92.3
札幌	北海道	30.8	98.7	23.3	90.3	74.1	100.1	30.5	95.2	146.1	100.0	281.5	99.3
仙台	宮城	98.5	102.8	88.2	103.4	202.3	96.3	153.0	90.0	36.1	85.7	489.9	94.5
	岩手	35.8	47.3	26.1	49.7	64.2	109.9	25.2	97.8	82.3	90.6	207.5	82.8
	福島	206.8	105.4	171.0	142.1	192.5	90.8	48.5	90.9	303.4	92.1	751.2	94.9
	秋田	255.1	96.4	158.0	94.3	221.9	102.6	53.5	89.4	450.1	86.2	980.6	92.3
	青森	48.8	98.6	37.0	105.1	115.1	95.7	24.3	102.7	69.9	116.7	258.1	101.9
	山形	230.0	101.9	156.3	107.9	148.7	85.1	79.8	100.6	111.9	106.3	570.4	97.5
計	874.9	96.4	636.5	105.1	944.7	95.3	384.5	93.3	1,053.7	91.6	3,257.7	94.1	
名古屋	愛知	70.4	92.4	52.2	85.5	47.6	82.9	21.0	76.5	598.8	93.7	737.8	92.2
	静岡	69.2	80.1	58.3	78.5	91.4	114.3	83.0	86.6	35.3	85.6	278.9	91.9
	三重	94.4	130.7	86.6	131.0	35.9	72.0	15.8	97.0	34.7	93.2	180.7	103.0
	岐阜	68.5	100.2	49.8	103.2	63.0	99.3	46.9	85.6	125.4	92.4	303.9	94.3
	計	302.5	99.8	246.9	98.9	237.9	94.9	166.7	85.7	794.2	93.1	1,501.4	93.8
金沢	石川	65.5	93.2	43.9	99.2	166.6	91.6	38.7	77.8	40.2	76.4	311.0	87.7
	福井	100.1	101.8	67.8	111.1	33.4	119.7	14.6	96.7	42.7	107.3	190.7	105.3
	富山	60.1	98.3	52.2	100.9	19.7	93.8	22.8	103.0	72.4	87.1	175.0	93.4
	計	225.6	98.3	163.9	104.4	219.8	95.2	76.0	87.5	155.4	88.5	676.8	93.6
広島	広島	89.8	100.2	63.5	104.1	104.5	93.7	56.2	81.6	271.6	92.8	522.1	92.8
	山口	238.0	90.4	234.0	90.3	41.3	100.4	4.9	79.0	46.8	74.7	331.0	88.7
	岡山	26.7	86.4	21.2	83.0	35.6	94.6	36.6	95.6	68.0	96.6	166.8	94.2
	鳥取	14.1	90.7	12.5	90.1	13.3	71.7	2.8	93.9	17.3	80.6	47.5	81.2
	島根	34.3	97.8	30.5	101.4	49.7	95.8	4.1	86.1	59.4	86.2	147.5	91.8
	計	402.9	92.8	361.6	92.8	244.4	93.7	104.5	86.4	463.1	89.7	1,214.9	91.2
高松	香川	9.0	95.4	5.8	102.0	11.1	87.2	13.4	92.8	22.8	105.9	56.2	96.8
	愛媛	26.2	92.6	16.9	96.7	15.2	95.6	12.6	153.1	44.2	83.2	98.2	93.1
	徳島	6.2	73.0	3.4	62.9	5.2	82.9	4.6	73.0	6.1	80.0	22.1	77.0
	高知	76.9	83.5	69.8	90.6	87.9	96.7	30.1	83.4	88.8	76.4	283.6	84.6
	計	118.2	85.5	95.9	90.8	119.4	94.9	60.7	93.3	161.9	81.6	460.2	87.2
福岡	福岡	77.4	89.1	61.2	96.0	83.8	91.3	33.1	96.3	133.9	84.5	328.2	88.3
	佐賀	63.1	109.1	57.4	113.9	56.6	107.0	11.8	70.9	37.8	75.2	169.3	95.3
	長崎	14.8	110.6	3.9	110.4	10.4	102.6	10.6	96.4	30.5	83.8	66.4	93.5
	計	155.3	98.2	122.5	104.1	150.9	97.4	55.5	89.5	202.2	82.5	563.9	90.9
熊本	熊本	25.0	104.0	23.5	104.5	15.1	98.4	10.3	69.0	31.7	86.3	82.1	90.1
	大分	15.7	84.0	10.7	91.5	23.7	95.1	10.2	77.9	75.5	90.8	125.1	89.5
	鹿児島	0.0	7.1	-	-	1.2	375.1	-	-	-	-	1.3	106.5
	宮崎	0.6	107.2	-	-	1.3	77.7	1.7	98.1	4.6	88.0	8.1	89.1
	計	41.4	93.6	34.2	100.1	41.4	97.7	22.2	74.5	111.8	89.4	216.7	89.8
沖縄	沖縄	-	-	-	-	-	-	0.9	68.0	-	-	0.9	68.0
総計	4,157.5	96.2	2,918.7	99.3	4,040.3	97.2	2,158.3	97.1	14,553.8	90.4	24,909.9	93.0	
輸出免税数量												1,465.3	79.3

—資料— 2020年1月「単式蒸留焼酎」県別課税移出数量一覧

(単位:kl、%)

(日本酒造組合中央会調)

都道府県名	さつまいも		米		麦		そば		酒かす		計		
	本年	対比	本年	対比	本年	対比	本年	対比	本年	対比	本年	対比	
東京	東京	2.1	49.4	0.0	166.7	12.0	65.4	-	-	0.0	60.2	14.2	62.4
	神奈川	0.0	125.0	0.0	93.9	-	-	-	-	0.2	151.8	0.2	135.7
	千葉	192.5	89.4	1.4	86.1	236.0	86.7	0.2	73.8	0.3	72.2	435.8	88.6
	山梨	2.1	110.8	0.7	137.1	57.6	108.2	0.3	60.8	0.0	154.5	60.8	108.1
	計	196.7	88.8	2.1	98.6	305.6	88.9	0.5	64.6	0.5	86.7	511.0	89.5
関信	埼玉	0.2	45.3	1.3	98.1	-	-	-	-	0.2	110.6	2.5	50.4
	茨城	5.4	94.7	0.9	124.9	2.8	123.6	0.9	86.7	0.5	101.9	10.8	103.4
	栃木	-	-	0.8	111.5	-	-	-	-	0.1	42.9	1.0	90.2
	群馬	-	-	0.0	32.6	0.5	122.7	0.0	100.0	0.0	94.7	0.6	111.9
	長野	8.9	121.3	2.2	106.0	13.5	76.2	6.8	108.3	2.1	279.3	39.4	101.4
	新潟	-	-	12.9	90.2	-	-	0.1	91.9	2.3	84.0	15.3	89.2
計	14.5	107.6	18.2	94.5	16.9	73.0	7.8	105.0	5.3	117.2	69.5	95.3	
大阪	大阪	6.5	67.7	0.4	150.2	42.9	97.5	0.2	665.4	-	-	49.9	92.7
	京都	61.9	72.3	10.7	622.1	20.8	160.5	0.0	-	-	-	93.5	93.2
	兵庫	0.3	37.2	1.5	70.2	6.1	76.9	-	-	0.2	77.2	8.7	74.3
	奈良	0.2	75.1	0.4	108.6	-	-	-	-	-	-	0.6	95.0
	和歌山	-	-	0.6	116.5	-	-	-	-	0.0	4.1	0.6	103.8
	滋賀	0.8	300.7	0.0	7.0	0.1	83.1	-	-	0.1	134.7	1.2	105.1
計	69.8	72.2	13.6	249.3	70.0	107.4	0.2	942.3	0.3	74.9	154.5	91.8	
札幌	北海道	3.5	88.9	4.0	517.3	0.9	90.7	-	-	0.3	97.5	25.2	124.1
仙台	宮城	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	89.1	0.9	89.1
	岩手	-	-	0.5	92.1	-	-	-	-	0.2	166.0	0.7	103.3
	福島	0.6	78.9	2.0	167.9	0.9	79.0	0.7	288.9	0.5	104.6	4.8	113.1
	秋田	0.1	566.7	1.9	110.0	-	-	-	-	2.2	116.4	4.4	114.0
	青森	-	-	0.6	108.4	-	-	-	-	-	-	5.7	98.5
	山形	-	-	1.1	89.0	0.2	70.6	0.0	131.9	0.9	73.0	2.3	81.4
計	0.7	89.5	6.0	116.1	1.1	77.4	0.8	253.2	4.6	99.4	18.8	102.1	
名古屋	愛知	5.6	93.5	7.2	80.2	25.6	107.8	-	-	0.0	14.8	38.5	99.0
	静岡	0.3	125.1	1.9	71.1	0.2	68.1	0.0	571.4	0.7	95.5	3.5	80.0
	三重	-	-	0.7	70.0	3.5	68.9	-	-	0.0	100.0	4.3	69.5
	岐阜	-	-	3.1	246.5	11.7	147.5	-	-	0.3	118.9	31.4	134.3
	計	5.9	94.8	13.0	92.8	41.1	110.6	0.0	571.4	1.0	91.4	77.8	106.6
金沢	石川	-	-	0.4	101.2	-	-	-	-	-	-	0.4	101.2
	福井	-	-	0.2	224.0	-	-	-	-	0.0	3,750.0	0.3	290.6
	富山	-	-	0.3	99.6	-	-	-	-	-	-	0.3	70.8
	計	-	-	0.9	116.7	-	-	-	-	0.0	3,750.0	1.0	109.8
広島	広島	3.1	90.5	0.9	107.4	5.8	82.0	-	-	0.1	67.5	10.0	86.7
	山口	1.0	105.7	0.7	69.4	-	-	-	-	6.2	80.6	7.9	81.8
	岡山	0.0	56.2	2.1	77.8	1.0	91.0	0.0	32.3	0.0	34.1	3.6	73.1
	鳥取	0.5	50.8	0.2	31.1	0.1	36.5	0.0	102.4	-	-	0.9	44.0
	島根	0.6	111.6	0.4	119.7	0.5	105.7	0.0	127.8	0.8	86.7	4.6	142.1
計	5.2	88.1	4.4	78.3	7.5	82.3	0.2	90.8	7.1	80.6	27.0	86.1	
高松	香川	0.0	-	1.0	92.8	0.0	87.0	-	-	-	-	1.1	90.6
	愛媛	0.8	127.3	1.0	88.5	3.0	104.3	0.0	86.5	0.5	74.6	6.7	102.0
	徳島	2.1	87.5	0.0	100.0	0.0	26.3	-	-	-	-	2.2	81.3
	高知	3.9	131.5	1.7	73.0	12.2	112.7	-	-	0.0	73.3	39.2	95.9
計	6.7	113.4	3.7	81.8	15.3	109.7	0.0	84.9	0.6	74.4	49.2	95.8	
福岡	福岡	-	-	60.6	77.1	2,001.9	87.8	124.7	99.4	4.9	85.0	2,440.4	88.9
	佐賀	72.9	145.5	2.6	103.3	164.6	115.6	0.6	315.4	1.4	113.3	242.3	123.3
	長崎	8.7	86.7	0.4	67.1	146.7	92.3	0.0	133.3	0.0	79.4	159.1	91.9
計	81.7	135.7	63.5	77.8	2,313.3	89.6	125.4	99.8	6.4	89.9	2,841.7	91.3	
熊本	熊本	38.0	102.7	586.3	97.4	59.3	86.5	1.2	90.3	0.0	33.3	685.2	96.6
	大分	9.5	103.4	5.9	74.7	5,062.8	95.6	0.0	110.0	0.2	67.2	5,078.6	95.6
	鹿児島	3,764.7	92.5	60.5	126.5	1,143.1	102.5	12.7	52.6	0.0	188.5	5,363.6	93.8
	宮崎	6,616.1	89.6	48.9	141.5	587.4	89.6	234.0	95.1	-	-	7,490.7	90.0
計	10,428.4	90.7	701.6	101.4	6,852.7	96.1	247.9	91.4	0.3	83.5	18,618.1	92.8	
沖縄	沖縄	-	-	1,216.9	92.7	-	-	-	-	-	-	1,216.9	92.7
総計	10,813.0	90.8	2,047.9	95.5	9,624.3	94.3	383.0	94.3	26.6	92.5	23,610.8	92.6	
輸出免税数量											66.8	137.0	

※「計」には「その他」も含む